

*** 太陽塔望遠鏡分光室の通気口（タヌキの通用口）発見**

アーカイブ室新聞 (2010年2月1日 第279号) に「塔望遠鏡ドームの雨漏り終了、ただ今の住民は「たぬき」」という記事を書いた。太陽塔望遠鏡の分光室には東西の壁に外に向かって斜め下に向かった穴が4個ある(写真1)。この穴の中に「たぬき」(写真2)を見つけた記事であった。もちろん主題は「有形登録文化財」の塔望遠鏡ドームの雨漏り修理工事完成の記事である。



写真1 塔望遠鏡地下分光室の穴



写真2 穴の中の「たぬき」

しかし、この穴の正体がよくわからなかった。分光室は半地下になっており、穴の位置

は地上より低い所にあり、そして斜めに下に向かっているのである。

タヌキが入ってくるのだから、その入口があるはずだと今回、探索に向かった。塔望遠鏡は大きく言えば、多摩川の河岸段丘の南斜面近くに立っている。そこで南斜面を探せばおそらく見つかるだろうと見当をつけて探しに行った。斜面の草むらの中に密かに開いた穴があるだろうとかなり気を入れて探しに出かけたのだが、穴の入口は簡単に見つかった。初夏で草が茂る前だったことが幸いした。見つかった穴は1対の穴が2か所（写真3）あった。分光室の穴の数ともぴったりである。



写真3 塔望遠鏡の南側斜面にあった1対2か所の穴の入口

この穴がタヌキの出入り口であることは確かなようである。穴の入口のアップが写真4である。なにやら中にも見えた。これのアップも撮って見た（写真5）。



写真4 穴の入口、中に何やら！

穴を覗くと、何やらいるように見えるが動かない。たぬきならじっとしているはずもない。写真5で見ると、このタヌキではないかと思えたものは、タヌキの排せつ物の山であ

ろう。最近4歳になったばかりの孫娘を連れて井の頭文化園の動物園によく行くが、動物園のたぬき舎にはタヌキのお便所という案内がある。汚い家畜の代表のような豚さんもお便所が決まっていることを知っていたが、タヌキもお便所が決まっている。しかしこの量は半端ではない。



写真5 塔望遠鏡に巣くっていたタヌキの排せつ物の山

塔望遠鏡の電力回復工事を行う前、塔下部の主鏡辺りがタヌキの糞で一杯で異様な臭気を放っていたが、その辺りがタヌキ君のトイレと化していたのであろう。

これらの穴は、エアコンの無かった時代の半地下の大きな分光室の空気の循環装置であったと考えれば納得できるのである。他の穴の入口は写真6のようにきれいなのである。



写真6 きれいな他の入口の穴